

学校教育目標	【ひとつの命 がんばる心 しんじあう仲間】 ○柔軟な見方考え方もち、好奇心豊かに学び続ける子を育てます。(知) ○自他の良さに気づき、思いやりの気持ちをもつ子を育てます。(徳) ○豊かな心と健やかな体もち、命を大切に育てます。(体) ○自分の行動に責任もち、地域とともに生きる子を育てます。(公) ○自分の気持ちを素直に表現し、様々な社会の変化に対応できる子を育てます。(開)				
	創立 44 周年	学校長 梅田 研一	副校長 松本 真理	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 3
学校概要	児童生徒数: 394 人 主な関係校: 金沢中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	金沢中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p>〈目標に向かって粘り強く取り組む力〉 〈自他を認め、豊かに生きる力〉 〈コミュニケーション能力〉</p>	<p>金沢中学校 金沢小学校 八景小学校 文庫小学校 釜利谷東小学校</p>	<p>課題解決のために協力する子ども 他人を思いやり、地域社会に貢献しようとする子ども</p> <p>・社会性や協働性、課題解決能力やコミュニケーション能力を高めるために、地域や社会、自然等と触れあう豊かな体験を通じて、様々な人々と関わりながら、探究的な学習を行う。 ・社会で働いている人々や行われていることの本質に触れたり、働くことの意義や喜びを感じたりできるように職場体験や職場見学を行う。</p>

中期取組目標	<p>○子ども一人ひとりを大切にし、互いに認め合える関係づくりを通じて、保護者・地域に信頼される学校を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の楽しさや自己の成長を実感できる授業づくりを行い、自己肯定感と共に自己有用感を高めていきます。 ・気持ちのよい挨拶を通して互いを尊重し合う意識を高め、だれもが安心して豊かに学校生活を送れるようにします。 ・自己の心や体、生活を見つめ、健康的な生活習慣が形成できるようにします。 ・まちとの連携を軸にまちの「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、まちを愛する心を育てます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
<p>知 確かな学力</p> <p>担当 教務、重点研推進委員会</p>	<p>①子どもたちが、既習内容や学習経験を振り返りながら、自分の課題を解決していけるような授業づくりをする。 ②授業の中で、友達との対話や協働によって課題に取り組む学習形態を取り入れる。③家庭学習で、基礎的基本的な学習内容を身につけるため家庭との連携を図る。</p>
<p>徳 豊かな心</p> <p>担当 道徳、指導部</p>	<p>①学年やブロックで連携しながら子どもの実態をつかみ、多面的に子どもの様子を把握し児童を理解する。②全教育課程で子どもの心を育てていくことを意識できるよう道徳教育全体計画と別業を活用する。③道徳の授業を軸に、学級活動で自分のよさを認識、発揮したり、他者への思いやりを育んだりし、道徳で学んだことを生かすようにする。</p>
<p>体 健やかな体</p> <p>担当 体育、指導部</p>	<p>①体力づくりとともに仲間づくりを推進し、体と心の健康の保持・増進・向上をめざす。②楽しく進んで運動し、バランスのよい体力づくりに取り組む。③仲間と一緒に体を動かすことを通じて、自分のよさ・様々な人やもののよさをとらえるようにする。</p>
<p>公開 自分づくり教育 (キャリア教育)</p> <p>担当 特活</p>	<p>①目標を立てて自分の成長を振り返ることで、よりよい自分を目指す活動を6年間積み重ねていけるようにする。</p>
<p>いじめへの対応</p> <p>担当 児童指導委員会</p>	<p>①YPや市のいじめアンケートだけでなく、毎月の生活アンケートを継続し、子どもとの面談を行うなど一人ひとりにきめ細やかな支援ができるようにしていく。②事案が発生した際には、複数名による聴き取りや事実の確認と記録など手厚い初期対応を徹底する。</p>
<p>人材育成・組織運営(働き方)</p> <p>担当 総務部</p>	<p>①毎月の第1木曜日にブロック研、第2～第5学年研日を設定し、学習内容・行事・児童理解についての情報共有や研修を行い、職員の力量の向上を目指す。②メンター研を毎月設定し経験の浅い職員と共にミドルリーダーの育成を推進する。③余剰時数の削減や、行事計画が職員の働き方にどのような成果と課題があるかを検証し、改革していく。</p>
<p>児童指導</p> <p>担当 児童指導委員会</p>	<p>①多くの教職員の目で、多面的に子どもたちを見とり、打ち合わせなどで情報を共有する。②児童指導委員会では、児童理解に関わる事案を取り上げ対応を確認したり、釜利谷東スタンダードをについて見直したりする。③不登校児童を含め保護者との連携を図り、共に子どもを育てていく姿勢を示していく。</p>
<p>特別支援教育</p> <p>担当 特別支援委員会</p>	<p>①年7回の特別支援全体会で共通理解を図り、同じ方向性のもと学校全体で特別支援教育に取り組むとともに、個別の指導計画・個別の教育支援計画の加筆・修正・活用を進める。②ブロック研で事例研修を年2回行い、具体的に話し合うことで日々のかかわり方や個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成に生かす。</p>
<p>安全管理</p> <p>担当 安全 指導部</p>	<p>①アフターコロナを見据えて避難訓練を計画的・段階的に実施する。指導内容と振り返り(職員・児童)を大切に、危機対応力を高めていく。関係各機関との協力も積極的に行う。②大規模災害の発生を想定し、児童・職員一人ひとりの防災意識を高めるとともに、学校・家庭・地域の防災体制の共通理解を図る。</p>
<p>地域学校協同活動</p> <p>担当 総務部</p>	<p>①地域学校協働本部の立ち上げに伴い、学校・地域コーディネーター主導のもと、各種活動(読み聞かせ、蓮田整備ボランティア、園芸ボランティア、登下校見守り)を定着させていく。</p>